

令和元年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人
北海道国際交流センター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： HAKODATE MARCHE

企画実施概要： ①企画内容
函館蔦屋書店のイベントHAKODATE MARCHEで、NGO相談ブースを出し、SDGsとNGO活動の相談にのり、NGO活動を広めた

②対象者および参加人数：イベント参加者数延べ1,700名
NGOの情報提供や質問などに対応し、SDGsの普及に対しても積極的に説明した。

2 出張者氏名 池田 誠

3 依頼元／主催団体名 函館蔦屋書店

4 実施予定日時 令和元年9月28、29日 (土、日) 11:00～17:00

5 実施場所 函館蔦屋書店

6 実施報告 函館で行われる初めてのSDGsイベントとなり、多くの関心のある人たちが集まった。SDGsについて聞いたことはあるが、よくわからないという来場者に対して、SDGsのリーフレットや冊子、映像などを使って説明をすることで、かなり理解が促進された。ある程度関心のある層はもちろん、函館蔦屋書店が、道南の中でもっとも集客力のある場所であることから、全く知らなかった層に対してもSDGsやNGOを知ってもらいきっかけとなった。今後も、SDGsのイベントをやって欲しいとの意見も多く、NGO相談員として、今後も広報・周知に努めてゆきたい。

7 写真



相談の様子

(写真1)



会場の様子

(写真2)

以上

令和元年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： A K I T A 英語コミュニケーション能力強化事業第3回
スーパーイングリッシュキャンプ 2019 ワークショップ「貿易ゲーム」

企画実施概要：

①実施内容

- ・NGO相談員制度の紹介
- ・貿易ゲームの実施、解説
- ・日本が実施しているODA事業の説明

②対象者および参加人数

高校生 20人、英語指導助手7人、教師3人

2 出張者氏名

小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名

秋田県教育庁 高校教育課

4 実施日時

令和1年9月7日 (土) 13:00～15:00

5 実施場所

大仙市八乙女交流センター (秋田県大仙市)

6 実施報告

・自分達のグループは道具がなく、物の価値も知らなかったため、他のグループにうまく利用されたのがとても悔しかったです。自分達の利益を追い求めることも重要ですが、世界全体を見て他者を助け、平等な世界を追い求めることが重要だと感じました。

・これまで貿易のニュースなどを見ても他人事のように感じていましたが、自国に収入が入るか入らないか、経済発展できるかの問題なので、これから気をつけてみていきたいと思いました。

・先進国で生活する自分達は授業などで貧困問題や経済格差の更正が重要であると学びますが、今日の貿易ゲームを通してそれがいかに大切で急を要するものか、より深く理解することができた。

7 写真



裕福な国に対し、貧しい国の生徒が製品を作るための道具を売ってもらえないかと交渉している様子。

(写真1)



道具もなく、紙もない貧しい国がどのように設けたらよいか分からずにいたため、相談員から他国の様子を情報共有した。

(写真2)

以上

令和元年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。
記

1 企画名および企画概要

企画名： 「豊かさと開発」ワークショップ

企画実施概要： ①実施内容

- ・IVYから、N連、JPF事業である海外支援、NGO相談員制度について説明
- ・開発教育ワークショップ「豊かさと開発」の実施
- ・SDGsに関する説明。
- ・日本が実施している国際協力活動の紹介。

②対象者および参加人数

高校2年生 32人

2 出張者氏名

小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名

秋田県立能代松陽高等学校

4 実施予定日時

令和1年9月14日（土） 9:30～12:00

5 実施場所

あきた白神体験センター（秋田県山本郡八峰町）

6 実施報告

- ・世界を豊かにしていくためには、環境を整えるだけでなく、そこに暮らす人たちの内面的な豊かさも保つことが大切だと感じた。
- ・それぞれの地域や国で抱えている問題が異なり、立場によっても考える問題が違う為、全ての人が良く過ごす方法を見つけるのは、とても大変なことだということが分かった。
- ・地球環境と世界経済のこと、どちらか一つを重視するのではなく、両立して考えなければならないということが印象深かった。
- ・開発途上国の情勢や開発段階によって、支援の内容が異なることを知った。日本の団体がどのような国際協力をしているのか、もっと知りたいと思った。

7 写真



「豊かな社会」とはどんな社会なのか、カードを使って考えた。

(写真1)



グループ毎に立場を変えて「豊かな社会」とはどんな社会かを考えると、社会の見方が変わることを実感した生徒達。

(写真2)

以上

令和元年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： せんだい地球フェスタ2019

企画実施概要：

①実施内容

国際協力、国際交流、多文化共生等の団体が参加し、フェスタ全体で8,000人が来場した。IVYではブース出展を行い、弊団体の活動紹介を行い、市民の国際協力、ODA事業に対する理解促進に努めた。

・ブース出展での業務内容

①相談対応

②来場者が「国際協力クイズ」への参加を通じて、シリア・イラク支援事業（N連、JPF助成事業）、ミャンマー避難民支援事業（JPF助成事業）、カンボジア支援事業（N連事業）などに関する活動紹介を行った。

③IVYユース（大学生組織）が行っているカンボジアの小学校に対する算数教育支援の活動紹介を行った。

④国際協力の団体ブースを回り、NGO相談員制度の広報、各団体との情報共有を行った。

相談員チラシを配布し、相談員制度、出張サービスなどの周知を行った。

②イベント来場者数

約8,000人

2 出張者氏名

小笠原直子

3 依頼元/主催団体名

せんだい地球フェスタ実行委員会

4 実施予定日時

令和1年9月23日（月）

10:00～16:00

5 実施場所

仙台国際センター 展示棟

6 実施報告

・ODA資金を活用している海外事業について、市民の方に理解を深めていただけるよう、「国際協力クイズ」及びパネルを作成し、事業を紹介した。写真を用いて説明したことで、真剣に話を聞いてくださったり、質問して下さる方が多く見受けられた。大学生組織も出展したことから、若い来場者にも国際協力について説明の機会をもつことができた。

・東北を拠点とするNGOがあることを初めて知ったという来場者も多く、同じ東北出身者が組織している団体ということでNGOに対する親近感を高めることができたと共に、関東地域でなくてもNGOを運営していくことができることを知り、国際協力に対するハードルを下げるができた。

・主に宮城を中心に活用している国際協力、交流団体も出展していたため、現在実施している海外事業などについて情報交換を行うことができ、東北に拠点を置くNGOの動向を把握することができた。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 「グローバルフェスタJAPAN2019」での相談対応

企画実施概要： ①実施内容
「NGO相談員ブース」において、全国のNGO相談員によるシフトを組み、開場時間を通して1～3名体制で相談に対応し、来場者の個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供した。

②対象者および参加人数

相談件数合計：94

2 出張者氏名

伊藤衆子 堀内葵ほか

3 依頼元／主催団体名

グローバルフェスタJAPAN2019実行委員会

4 実施予定日時

令和元年9月28日（土）、29日（日） 10:00～17:00

5 実施場所

お台場センタープロムナード（シンボルプロムナード公園内）

東京都江区青海1-2

6 実施報告

・教育支援を行っているNGOに就職を希望しているが、待遇が不安であった。様々なNGOがあること、NGO以外の国際協力へのかかわり方も説明いただき、改めて検討したい。（学生）

・東京都内のNPOにはどのようなものがあるか、参考資料やウェブサイトを紹介してもらえた。東京以外のNPOの情報もとても参考になった。（会社員）

・NGOと政府の連携、企業との協力関係の具体的な話を聞いて、ODAや途上国支援の理解が深まった。（学生）

7 写真

	
<p>相談員ブースでの相談対応の様子①</p>	<p>相談員ブースでの相談対応の様子②</p>

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 未来の先生展2019におけるワークショップの実施

企画実施概要： ①企画内容
全国から教育関係者が集まり、学校や地域における学びを共有する標記プログラムにおいて、SDGsや持続可能な社会について考えるワークショップを実施するとともに、国際協力や開発教育について情報提供を行う。

②目的

- ・ 開発教育ワークショップを通じて、世界の問題や国際協力への理解を促す
- ・ NGOやODA活動、国際協力、開発教育や国際理解教育の教材や資料の紹介
- ・ 開発教育、国際協力の実施に向けた相談への対応

③対象者および参加人数

全国の教育関係者、一般市民 約50名

2 出張者氏名

岩岡由季子

3 依頼元／主催団体名

未来の先生展2019実行委員会

4 実施日時

令和元年9月14日（土） 16:30 ～18:00

5 実施場所

明治大学

6 実施報告

・ ワークショップの参加者は38名で、学校教員を中心に、教育関係の企業やNGO団体の職員、学生などが参加した。開発教育教材を使ってワークショップを行い、最後にSDGsを学校でどう取り組むかなどについて説明・紹介した。参加者からは、「SDGsの考え方が大変参考になった」「ぜひ授業で取り入れたい」といった声があった。

・ ワークショップ終了後に、参加者からの相談・質問に対応した。SDGsを授業で取り入れたいと考えている教員や、ESDや開発教育に取り組みたいと考えている教員が多く、それぞれに対して適した教材や授業の方法、他のNGO団体などを紹介した。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 第3回SDGs×かながわ開発教育セミナー

企画実施概要： ①企画内容
国際協力・国際理解に取り組んでいる教員や教育関係者が参加するセミナーで、国際協力、開発教育や国際理解教育に関する相談ブースを出展した。

②目的
・ 開発教育ワークショップを通じて、世界の問題や国際協力への理解を促す
・ NGOやODA活動、国際協力、開発教育や国際理解教育の教材や資料の紹介
・ 開発教育、国際協力の実施に向けた相談への対応

③対象者および参加人数
主に神奈川県内の教育関係者、一般市民 約50名

2 出張者氏名

八木亜紀子

3 依頼元/主催団体名

JICA横浜、かながわ開発教育センター (K-DEC)

4 実施日時

令和元年9月8日 (日) 10:00~17:00

5 実施場所

JICA横浜

6 実施報告

参加者からの相談・質問に対応した。テーマがSDGsであったため、SDGsを授業で取り入れたいと考えている教員や、ESDや開発教育に取り組みたいと考えている教員が多く、それぞれに対して適した教材や授業の方法、他のNGO団体などを紹介した。神奈川県だけでなく広く関東全県より、たいへん熱心な方々が参加しており、非常に多くの質問・相談に対応した。

7 写真



ブースの様子



セミナーの様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年10月9日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
名古屋NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 多文化が共生する県民フェスタ

企画実施概要： ①企画内容：石川県各地から多くの国や人が参加する多文化共生イベントの会場に出展し、来場者を対象に相談対応やNGO活動紹介などを実施した。

②対象者および参加人数：当センターへの来場者は約50名。

2 出張者氏名

堀川絵美

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人 石川県国際交流協会

4 実施予定日時

令和1年9月29日（日） 10:00 ～ 16:00

5 実施場所

リファーレ（住所：石川県金沢市）

6 実施報告

「名古屋にはどのような団体が、どのような活動をしているのか。NGOの活動に興味がある。」

「海外ボランティアなど、海外に出ることのできるようなことが得られるのか、関心がある。」

「自分にもできる、身近にできる国際協力を知りたい。」

7 写真



会場の様子

(写真1)



ブース出展の様子

(写真2)

以上

令和元年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

公益社団法人
日本国際民間協力会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 途上国、災害被災地で実施されるNGOの活動について

企画実施概要： ①実施内容：国内の障がい者福祉サービスを事業として実施している企業のスタッフの国際福祉への理解を深めるため講演する。
②対象者および参加人数：障がい者福祉施設で働く方30名

2 出張者氏名 大豊 盛重

3 依頼元／主催団体名 株式会社エーゼル

4 実施予定日時 令和元年9月12日 (木) 13:00～15:00

5 実施場所 アークショップノアノア (大阪府大阪市)

6 実施報告

- ・SDGsの中に障がい者に対する目標も含まれていることが分かったとの感想があった。
- ・NGOが国際的な緊急支援をする際に障害を持つ方への配慮をしていることが分かったとの感想があった。
- ・他の国の障がい者の生活について興味を持つことが出来たとの感想があった。

7 写真



SDGsに盛り込まれている障がい者に対する目標について解説する大豊

(写真1)



緊急災害被災者支援を計画する際に、どのように障がい者の方を捉えるかについて解説する大豊

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 立命館宇治高等学校での講演の実施:「日本の国際協力とNGOの活動～SDGsの視点から国際協力と私たちのつながりを考える～」

企画実施概要: ①企画内容
国際的な課題に対して日本のNGOが行ってきた活動や役割を紹介した。その上で、今日SDGsの文脈において高校生や若者が世界とどのようにつながり、どのようにアクションをおこすことができるのかをワークショップを通して考えた。ワークショップでは、紛争鉱物を取り上げ、スマートフォンや紛争鉱物に関わる問題の、どこにどのような意見、問題意識を持つのかを掘り下げて考えた。

2 出張者氏名 岩根あずさ((特活)関西NGO協議会)



3 依頼元/主催団体名 立命館宇治高校 杉浦真理

4 実施予定日時 令和元年9月3日 (火) 12:20-13:20、13:30-14:30、
14:40-15:40 (60分×3コマ)

5 実施場所 立命館宇治高等学校 京都府宇治市広野町八軒屋谷

6 実施報告 参加者の高校生はSDGsに関して見聞きしたことはあるものの、実際にどういった目標で、どのような取り組みがされているのかについてはほとんど知らなかった。そのため、SDGsのそれぞれのゴールの中から、自分の興味関心がある分野や、気になる課題につながる分野を挙げてもらうことで、SDGsへの理解を深めた。その後、紛争鉱物を題材に行ったワークショップでは、「消費者と企業の情報の非対称性をどのように解決していけばいいのか」、「紛争鉱物以外で、人権侵害や搾取が起こっている鉱物採掘にはどのようなものがあるのか」、「紛争鉱物を使わない方法でスマートフォンを作る仕組みを作っていくにはどうしたらいいのか」といった質問があがった。

7 写真

	
SDGsについて紹介する様子	質問にSDGsのゴールを使いながら答える様子

(写真1)

(写真2)

以上

令和1年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名:

企画実施概要:

①実施内容

NGOを対象とした民間助成制度・ODA助成制度説明会会場でNGO相談員ブースを出展し外務省N連・環境整備事業、JICA草の根技協、JICSのNGO支援事業についても資料を配架し、ODAによるNGO支援制度の説明も併せて対応する。

②対象者および参加人数

関西地域のNGO、NPOを中心に18団体、25名の参加。

2 出張者氏名

高橋美和子

3 依頼元／主催団体名

関西NGO協議会/関西・大阪21世紀協会万国博覧会記念基金事業団/JICA関西

4 実施予定日時

令和1年9月3日 (火)

15:00~18:00

5 実施場所

キャンパス谷町・大阪ボランティア協会大会議室(大阪府大阪市)

6 実施報告

参加者およびブース訪問者からは、N連申請の際、管理費15%まで申請できる団体の条件について質問がなされた。また、規模の小さな団体からJICA基金の伴走支援(チャレンジ枠)への関心が高く、JICA担当者も交えて対応を行った。外務省のNGO支援制度については、こうした説明会や、ワンワールドフェスティバル等で小さいながらも継続して開催しているため、関西の中小規模の団体も少しずつ関心を高め、申請を検討する団体からの相談件数が増えた。

7 写真



JICA基金チャレンジ枠の伴走支援制度について説明するJICA担当者

(写真1)



外務省、JICSのNGO支援制度とNGO相談員制度の活用について説明をおこなう関西NGO協議会職員

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: JICA関西国際協力推進員との連携会議

企画実施概要: 近畿ブロックNGO相談員とJICA関西国際協力推進員間での連携を深め相談員活動を推進するための会議を開催。関西でこれまで継承されてきた協働事業促進や各地域の新しい推進員との顔合わせや事業計画情報の共有など更なる連携、協働に向けた協議を行った。JICA関西市民参加協力課の職員5名も参加した。

2 出張者氏名

近畿ブロック相談員
大豊盛重(日本国際民間協会/NICCO)
坂西卓郎(PHD協会)
高橋美和子(関西NGO協議会)

3 依頼元／主催団体名

JICA関西

4 実施予定日時

令和元年9月4日 (水) 15:00～16:30

5 実施場所

JICA関西(兵庫県神戸市)

6 実施報告

和歌山の推進員より、国際協力NGOがほとんどいない地域で相談員と連携し、国際協力やSDGsの普及啓発の事業を行えないかという発言があり、関西NGO協議会と可能性について引き続き検討を行うことが決まった。

滋賀の推進員から、開発教育分野で京都のNGO(NICCO)と協働してきたが、推進員が交替しても組織としてこうしたパートナーシップが継続できるよう、推進員と相談員の会議を次年度も開催していただきたいという声があった。

JICA関西の職員からは、毎年継続して推進員と相談員の会議をしてきたが、少しずつ成果が見えてきたとして会議開催の意義を評価いただいた。

7 写真



手前前列がJICA国際協力推進員、迎えの列が外務省NGO相談員の3名。後方はJICA関西市民参加協力課の職員。

(写真1)



滋賀で開催された若い世代を対象とした開発教育セミナーでのNGOとの連携事例について報告する相談員と推進員の様子。

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 高砂南高等学校での講演の実施:「日本の国際協力とNGOの活動～SDGsの視点から国際協力と私たちのつながりを考える～」

企画実施概要: 国際的な課題に対して日本のNGOが行ってきた活動や役割を紹介する。その上で、今日SDGsの文脈において高校生や若者が世界とどのように繋がっているのかを紛争鉱物とスマートフォンを事例に自身の生活から考えるワークショップを行った。ワークショップでは、紛争鉱物を取り上げ、スマートフォンや紛争鉱物に関わる問題の、どこにどのような意見、問題意識を持つのかを掘り下げて考えた。

2 出張者氏名 岩根あずさ((特活)関西NGO協議会)

3 依頼元/主催団体名 兵庫県立高砂南高校 土肥衛司

4 実施予定日時 令和元年9月27日 (金) 9:40-10:30

5 実施場所 兵庫県立高砂南高等学校 (住所:兵庫県高砂市西畑)

6 実施報告 SDGsに関しては耳にしたことがあるが、具体的なそれぞれのゴールと自身の生活のつながりは考えたことがないという生徒がほとんどであった。その中でSDGsのそれぞれのゴールを詳しく見ながら、自身の生活とのつながりをイメージしてもらった。具体的には「ゴール1:貧困をなくそう」を事例に取り上げながら、紛争鉱物と貧困の関係、自分たちの関係性を考えた。参加した高校生からは、「今まで知らなかったことばかりで驚いた」や、「国際の課題について、もっと視野を広げたいと思った」といった声が上がった。また、教員からは、「生徒が取り組んでいる課題学習の視野が広がった」というフィードバックを受けた。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和1年11月6日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
関西NGO協議会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: グローバルフェスタでのNGOインターンプログラムの活用事例紹介

企画実施概要: ①実施内容
グローバルフェスタにおいて、外務省NGOインターンプログラムを活用しているインターン及び、育成担当者が、活用の事例について紹介、報告を行う
②対象者および参加人数
グローバルフェスタ来場者

2 出張者氏名 PHD協会(坂西、酒井)関西NGO協議会(岩根あずさ)

3 依頼元/主催団体名 外務省民間援助連携室、(公社)青年海外協力協会

4 実施予定日時 令和元年9月28日(土) 13:00～15:15

5 実施場所 お台場センタープロムナード(東京都港区台場1丁目)

6 実施報告 グローバルフェスタにて、NGOインターンプログラムの活用状況、育成状況を来場者に対して紹介した。特に、インターンが行なっている活動内容や、海外事業地での活動などについての紹介を行った。来場者の中には、メモ等を取りながら聞いている人もいた。

7 写真



インターンの活動の内容を紹介する様子

(写真1)



当日のステージの様子

(写真2)

以上

令和1年10月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** OMEP(世界幼児教育・保育機構)日本委員会
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
SDGsの学習～行動につながる「グローバル・ローカルかるた」の制作プログラムについて解説した後、そのワークショップを実施した。
 - ②対象者および参加人数 約40名 (タイ、韓国、中国、台湾等海外参加者を含む)
大学生・大学院生 約10名

2 出張者氏名

竹内 よし子

3 依頼元／主催団体名

一見 真理子(OMEP日本教育委員会理事、分科会責任者)

4 実施予定日時

令和元年9月6日 (金) 10:00～17:00

5 実施場所

京都テルサ(京都府民総合交流プラザ)

6 実施報告

①かるたづくりで、グローバルに環境問題も考えられると思います。それは学び＝教育でもあり、生物多様性でもあり、ネットワークでもあり、まさにSDGsへの歩みになると思えました。

②SDGsの活動も、自分が学ぶことも大事ですが、知見を広く知ってもらうための仕掛けの工夫やタイミング、そのマネジメントも重要。誰かがしてくれるのではなく、言われてやるのではなく、自分で考えすぐにやる。SDG'sが生活に直結し実感をもって機能していくために、私たちにできることをしていきたいと思えました。

③SDGs4.2を皆様とともに考える機会をいただけたことに本当に感謝しています。かるたという目に見える形にすると、そのグループで何を共有し、言葉を編み出していったかが分かり、とても興味深いものでした。

7 写真

	
「グローバル・ローカルかるた」について説明	英語でかるたづくりを実践

(写真1)

(写真2)

以上

令和元年10月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
NGO福岡ネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：青年海外協力隊 シニア海外協力隊写真展&個別相談会へのブース出展

企画実施概要：

- ①実施内容
国際協力に関心のある層、および協力隊派遣は考えていないが関心のある層へNGOの情報を提供し、認知向上・参加促進を目指すため、JICA九州による協力隊募集イベントにおいてブース出展を行う。
- ②対象者および参加人数
約30名

2 出張者氏名 原田君子 / 住本大輔 / 山田英行 / 佐々木健一

3 依頼元/主催団体名 JICA九州

4 実施日時 2019年9/16(月),17(火),20(金),21(土),22(日) 10:00~18:00

5 実施場所 会場名：アクロス福岡 1階コミュニケーションエリア
(福岡県福岡市中央区天神一丁目)

6 実施報告 JICA海外協力隊 写真展&個別相談会へのブース出展し、以下のような相談対応を行った。

- ・ 社会人NPO・NGOの違い・シニアSDGsについて知りたい
- ・ 社会人ボランティアがしたい
- ・ JICA海外協力隊の帰国後の就職についての相談、助言
- ・ 退職を控えるシニア層2名に、国際協力へのかかわり方を提案
- ・ NPOとNGOの違いを説明
- ・ 医者を派遣できる団体について情報提供
- ・ 主婦によるNGO活動を知りたい
- ・ SDGsの参考資料について提案

7 写真

	
個別の相談事例に対してそれぞれ対応を行った。	全体の様子

(写真1)

(写真2)

以上